SEO TOKYO maker

SEO REPORT 2026

Googleの一次情報で検証

August 2026 Spam Update 解説

Google・海外SEO専門家の見解と、取るべき対応

戻るボタンのハイジャック、生成AIへのスパムポリシー適用、
サイトの評判の不正使用、順位が下がったときの確認手順

アドマノ株式会社 | 東京SEOメーカー

FACT SHEET

August 2026 Spam Update

開始	2026年8月18日（米国太平洋時間）
完了	2026年8月21日
期間	2日16時間
対象	全世界・すべての言語
位置づけ	2026年3回目のスパムアップデート
Googleの説明	「通常のスパムアップデート」

この資料でわかること

2026年8月18日、Googleが新たなスパムアップデートの展開を開始しました。

こんなお悩みはありませんか？

- 8月に順位が大きく下がった
- どのスパムが狙われたのか知りたい
- 新しいスパムポリシーを把握しておきたい
- AIO・LLMOの施策がスパム扱いされないか不安

01 August 2026 Spam Updateの事実関係

Googleの公式情報、Mueller氏・Barry Schwartz氏の発信、その後の動き

02 2026年に変わったスパムポリシー

戻るボタンのハイジャック、生成AIへの適用、サイトの評判の不正使用

03 順位が下がったときの確認手順

外部要因と内部要因、手動対策の確認、回復までの考え方

本資料は2026年11月20日時点の情報です。August 2026 Spam Updateは8月21日に展開を完了しています。その後の9月のスパムアップデートと11月のコアアップデートについても補足します。

© ADMANO inc. All Right Reserved.

August 2026 Spam Updateの概要

まず、今回のアップデートの事実関係を、Googleの公式情報で確認します。

開始	2026年8月18日 午前9時27分ごろ（米国太平洋時間）	日本時間 8月19日 午前1時27分ごろ
完了	2026年8月21日	Search Status Dashboardで完了を確認
期間	2日16時間	Googleの当初の案内は「数日かかる可能性」
対象	全世界・すべての言語	日本語の検索結果も対象
Googleの説明	「通常のスパムアップデート」	重点的に対象としたスパム手法は非公表

事実関係 **2026年3回目のスパムアップデート**

2026年に入ってからGoogleが公表したスパムアップデートは、3月、6月に続いて3回目です。Googleは今回、新しいスパムポリシーの発表や解説ブログの公開はしていません。

補足 **動画収録時点との違い**

8月21日時点では「まだ展開中」とお伝えしましたが、同日中に展開は完了しています。本資料では完了後の情報で整理しています。

出典：Google Search Status Dashboard「August 2026 spam update」／Search Engine Land「Google August 2026 spam update done rolling out」

© ADMANO inc. All Right Reserved.

2026年のGoogleアップデート年表

今回のアップデートの前後関係を整理します（期間は米国時間・Search Status Dashboardの記録をもとに作成）。

3月24日	スパム	March 2026 Spam Update	約19時間30分
3月27日〜4月8日	コア	March 2026 Core Update	約12日
5月21日〜6月2日	コア	May 2026 Core Update	約12日
6月24日〜26日	スパム	June 2026 Spam Update	2日1時間
8月18日〜21日	スパム	August 2026 Spam Update	2日16時間
9月24日〜10月8日	スパム	September 2026 Spam Update	約14日
11月10日〜	コア	November 2026 Core Update	展開中（11月20日時点）

8月のあと、9月にも4回目のスパムアップデートがあり、11月10日からはコアアップデートが展開中

東京SEOメーカーの視点 2026年はスパムアップデートが4回、コアアップデートが3回（11月20日時点）と、多くの更新がありました。順位の変化を見るときは、どの期間に起きた変化なのかを日単位で確認することが欠かせません。

出典：Search Engine Land「Google September 2026 spam update done rolling out」／Search Engine Roundtable「Google November 2026 Core Update」

© ADMANO inc. All Right Reserved.

そもそもスパムアップデートとは

Googleは、検索結果からスパムを検出するための自動システムを常時稼働させています。

Googleの説明

スパムを検出する自動システムは常に稼働しており、その仕組みに大きな改善を加えたときに「スパムアップデート」として公表する

スパムアップデートは、Googleのスパムポリシーに違反しているサイトの順位に影響します。期間中だけスパム対策が動いているわけではありません。

Googleの説明 SpamBrain：AIベースのスパム防止システム

Googleの代表的なスパム対策システムがSpamBrainです。Googleはこのシステムを継続的に改善し、従来のスパムだけでなく、新しいタイプのスパムも検出できるようにしています。

Googleの説明 回復には数か月かかることも

Googleは、スパムポリシーに沿うよう改善した場合、自動システムが数か月かけてそれを学習することで、サイトが改善する可能性があると説明しています。

出典：Google検索セントラル「Google 検索のスパム アップデートとサイトへの影響」

© ADMANO inc. All Right Reserved.

Google John Mueller氏：なぜスパムアップデートが必要なのか

今回のアップデート発表後、SEOコンサルタントのEli Schwartz氏がLinkedInで質問を投げかけました。

きっかけ：Eli Schwartz氏の質問（LinkedIn）

Google検索が始まって長いのに、なぜ既存のアルゴリズムで自動的にスパムを排除せず、スパムアップデートが必要なのか？

> ***We have lots of systems that update continuously (most of them update automatically)***
>
> （継続的に更新されているシステムが多数あり、その多くは自動で更新されている）
>
> **— John Mueller氏（Google）／Search Engine Roundtableより**

Mueller氏の説明（要約） **大きな変更のときに公表する**

Mueller氏は、システムにより大きく広い範囲の変更を加えたときに、サイト運営者がアクセスや順位の変化を理解しやすいよう公表していると説明しました。

スパム対策は普段から動いている。大きな変更が行われたときに「Spam Update」として公表される

出典：Search Engine Roundtable「Why Google Announces Some Search Updates But Not All」2026年8月20日

© ADMANO inc. All Right Reserved.

Barry Schwartz氏の報道：「何が対象ではないか」

海外SEOニュースで有名なBarry Schwartz氏は、今回のアップデートについて重要な点を報じています。

Search Engine Roundtableの報道（Googleへの確認をもとに）

リンクスパム	対象ではない
サイトの評判の不正使用	対象ではない
重点的に改善したスパム手法	非公表

※Barry Schwartz氏はSearch Engine LandとSearch Engine Roundtableの両方で報じています。「対象ではない」という点は、Googleの公式発表文には書かれておらず、同氏がGoogleに確認した内容として報じたものです。

東京SEOメーカーの見解 **「今回のターゲットはこれ」と決めつけない**

スパムアップデートと聞くと「被リンクが狙われた」「サイト貸し対策だ」と考えたくなりますが、少なくとも今回、そう断定するのは正確ではありません。Googleの公式情報と、実際の順位変動を分けて見る必要があります。

参考情報 **海外の観察例（参考）**

海外のSEOコンサルタントからは、大量生成されたプログラマティックなページやAI生成コンテンツ、薄いアフィリエイトサイトの大きな下落が報告されています。ただし、これはGoogleが認めた対象ではなく、観察に基づく見方です。

出典：Search Engine Roundtable「Google August 2026 Spam Update Has Been Unleashed」

© ADMANO inc. All Right Reserved.

2026年の変化①：戻るボタンのハイジャック

今回のアップデートとあわせて、2026年にはスパムポリシー自体も変化しています。

Google検索から サイトへ → **「戻る」を 押す** → **検索結果に戻れず 広告ページなどへ**

ポリシーの要点

- ☑ 2026年4月13日に発表、6月15日から施行
- ☑ スパムポリシーの「悪意のある行為」として明示
- ☑ 手動による対策や、自動的な降格の対象になり得る

自社で実装していなくても要注意

利用している広告プラットフォームや外部のライブラリが原因になる場合もあります。広告タグやレコメンドなどのスクリプトが、ブラウザの履歴を書き換えていないか確認しましょう。

ポイント **コンテンツだけでなく「挙動」も対象**

Webサイトの内容だけでなく、ユーザーを欺くようなサイトの挙動そのものも、スパム対策の対象になっているということです。

出典：Google検索セントラル ブログ「戻るボタンのハイジャックに関する新しいスパムポリシー」2026年4月13日

© ADMANO inc. All Right Reserved.

2026年の変化②：生成AIの回答もスパムポリシーの対象に

もう1つ注目したいのが、生成AIへのスパムポリシーの適用です。

2026年5月15日の更新

Googleのスパムポリシーは、Google検索の生成AIの回答（AI OverviewやAI Mode）を操作しようとする行為にも適用されると明記

新しいルールが加わったわけではなく、既存のスパムポリシーがAIの回答にも及ぶことを明確にしたものです。スパム対策は「10本の青いリンク」だけの問題ではなくなっています。

Googleの説明　AIに表示されるための特別な最適化は不要

Googleは、AI OverviewやAI Modeに表示されるための追加の要件や特別な最適化はなく、SEOのベストプラクティスが引き続き有効だと説明しています。

東京SEOメーカーの見解　否定されているのは「ハック」

GoogleはAIO・LLMOそのものを否定しているのではなく、AIに選ばれるためだけの特殊なハックや、AIの回答を不正に操作する施策を否定している、と当社では捉えています。

技術的な土台を整え、独自性・専門性のある、ユーザーに価値あるコンテンツをつくることが基本

出典：Search Engine Roundtable「Google: Spam Policies Apply To AI Responses」2026年5月15日／Google検索セントラル「AI 機能とウェブサイト」

© ADMANO inc. All Right Reserved.

サイトの評判の不正使用（Site Reputation Abuse）

近年重要なテーマになっているのが、Site Reputation Abuseです。

どんな行為か

第三者のコンテンツを、ホストサイトがすでに持っているランキングシグナルを利用することを主な目的として掲載する行為など

日本では、いわゆる「サイト貸し」と関連して語られることがあります。ただし、August 2026 Spam Updateがこのポリシーを対象にしたものだとGoogleが発表しているわけではありません。

Googleの発表 **欧州（EEA）では手動対策の扱いが変更**

Googleは2026年8月28日、欧州委員会との協議を受け、8月30日以降、このポリシーに基づく手動対策を欧州経済領域（EEA）の検索結果には反映しないと発表しました。EEA外では従来どおりです。

ポイント **日本のサイトへの影響は変わらない**

EEAの変更は、EEA内のユーザーへの検索結果に関するものです。日本の検索結果では、引き続きこのポリシーに沿った運営が必要です。

出典：Google検索セントラル「Google ウェブ検索のスパムに関するポリシー」／Google検索セントラル ブログ「Update to the Site Reputation Policy」2026年8月28日

© ADMANO inc. All Right Reserved.

Googleがスパムとしている主な行為

Googleが現在スパムとしている代表的な行為を確認します。

クローキング
Googleとユーザーに異なるコンテンツを表示する

誘導ページの不正使用
特定のキーワードで上位表示させるためだけに、似たページを大量につくる

期限切れドメインの不正使用
過去に評価されていたドメインを買い、順位操作に使う

キーワードの乱用
不自然にキーワードを詰め込む

リンクスパム
順位操作の目的でリンクを購入・交換・大量生成する

大量生成されたコンテンツの不正使用
順位操作を主目的に、価値の乏しいコンテンツを大量生成する

サイトの評判の不正使用
既存サイトのランキングシグナルを利用する目的で第三者コンテンツを載せる

戻るボタンのハイジャック
ユーザーがブラウザの「戻る」を使うことを妨害する

このほかにも、隠しテキスト、スクレイピング、不正なリダイレクト、ユーザー生成スパム、ハッキングされたコンテンツなどがあります。詳しくはGoogle検索セントラル「Google ウェブ検索のスパムに関するポリシー」をご確認ください。

出典：Google検索セントラル「Google ウェブ検索のスパムに関するポリシー」

© ADMANO inc. All Right Reserved.

順位が下がったときの確認手順①：まず原因を切り分ける

順位が大きく下がっても、すぐに原因を決めつけず、順番に確認していきます。

1	**時期を照らし合わせる**	Search Consoleの検索パフォーマンスで、下落の時期がアップデートの期間（8月18日〜21日）と重なるか確認
2	**手動による対策を確認**	Search Consoleの「手動による対策」レポートに通知がないか確認
3	**技術的な問題を除外**	noindexの誤設定、robots.txt、サーバーエラー、計測タグの不具合などがないか確認
4	**スパムポリシーと照らし合わせる**	外部要因と内部要因に分けて、自社サイトに該当する行為がないか確認

ポイント **9月・11月の影響と混同しない**

8月以降、9月24日〜10月8日のスパムアップデート、11月10日からのコアアップデートもありました。下落の時期を日単位で確認し、どのアップデートの期間と重なるかを見ましょう。

Googleの説明 **Googleはまずスパムポリシーの確認を案内**

スパムアップデートの影響を受けたと考えられる場合、Googleはスパムポリシーを確認し、サイトがポリシーに沿っているかを確かめるよう案内しています。

出典：Google検索セントラル「Google 検索のスパム アップデートとサイトへの影響」

© ADMANO inc. All Right Reserved.

順位が下がったときの確認手順②：外部要因と内部要因

確認するときは、大きく2つの方向から見てください。

柱1

外部要因（リンク）

スパムポリシーに抵触するような被リンクがないか

- 順位操作を目的に購入したリンク
- 相互リンクの大量交換
- ツールで自動生成されたリンク
- ランキングを渡す設定のままの広告リンク

柱2

内部要因（サイト内）

コンテンツやサイトの挙動に問題がないか

- 重複・ほぼ同じ内容のページ
- 低品質なページの大量生成
- 検索順位を取るためだけのページ
- 中古ドメインの過去の評価に頼った運営
- 広告や外部スクリプトによる不正な挙動

2つの柱で全体を確認したあと、個別のスパムポリシーと照らし合わせていく

© ADMANO inc. All Right Reserved.

回復までの考え方：影響の種類で対応が変わる

回復に向けた対応は、影響の種類によって異なります。

アルゴリズムによる影響 手動対策の通知なし	**ポリシーに沿うよう改善し、自動システムが数か月かけて学習するのを待つ。再審査リクエストは不要**
手動による対策 Search Consoleに通知あり	**問題を修正したうえで、Search Consoleから再審査リクエストを送る**
リンクスパムによる影響 不自然なリンクで得ていた評価	**リンクの効果が無効化された場合、その評価は取り戻せない。正当な評価を積み上げる**

ポイント **「すぐ戻らない」ことを前提に計画する**

Googleは、スパムアップデートの影響からの改善には数か月かかることがあると説明しています。焦って大量のページを削除・作成するより、原因を特定して一つずつ直すことが大切です。

ご案内 **原因が分からない・戻らないときは**

調査しても原因が特定できない、修正しても回復しない場合は、専門家による調査をご検討ください。東京SEOメーカーでは、Googleペナルティ復活サービスでご相談を承っています。

出典：Google検索セントラル「Google 検索のスパム アップデートとサイトへの影響」

© ADMANO inc. All Right Reserved.

SEO・AIO・LLMOで取るべきスタンス

今回のアップデートと2026年のポリシー変更から、取るべきスタンスを整理します。

やめるべきこと

- ✕ AIの回答に載るためだけの特殊なハック
- ✕ 順位やAI引用を狙った低品質ページの大量生成
- ✕ 購入リンクや不自然な言及の水増し
- ✕ ユーザーを欺く広告やスクリプトの挙動

続けるべきこと

- ✓ クロール・インデックスなど技術的な土台を整える
- ✓ 独自性・専門性のあるコンテンツをつくる
- ✓ ユーザーに価値ある体験を提供する
- ✓ スパムポリシーの更新を定期的に確認する

東京SEOメーカーの視点 スパムアップデートのたびに一喜一憂するのではなく、Googleのポリシーに沿った運営を続けることが、SEO・AIO・LLMOのいずれにおいても最も確実な対策だと当社では考えています。

© ADMANO inc. All Right Reserved.

August 2026 Spam Updateのよくある誤解

アップデートのたびに広がりがちな誤解を整理します。

誤解	スパム対策はアップデート期間だけ動く	→ 正しくは	自動システムは常に稼働。大きな変更時に公表される
誤解	今回は被リンク対策だった	→ 正しくは	Googleへの確認では、リンクスパムは対象ではないと報道
誤解	今回はサイト貸し対策だった	→ 正しくは	同じく、サイトの評判の不正使用は対象ではないと報道
誤解	AI対策はすべてスパム扱い	→ 正しくは	否定されているのはAIの回答を不正に操作する施策
誤解	広告タグの挙動は自社の責任外	→ 正しくは	外部の広告やライブラリが原因でも対象になり得る
誤解	修正すればすぐ順位が戻る	→ 正しくは	改善が反映されるまで数か月かかることもある

「今回のターゲットはこれ」と決めつけず、公式情報と実際の順位変動を分けて見る

© ADMANO inc. All Right Reserved.

スパムアップデート対策チェックリストとまとめ

自社サイトの状態を、チェックリストで確認しましょう（東京SEOメーカー作成）。

- [ ] 下落の時期と、各アップデートの期間を照らし合わせた
- [ ] Search Consoleの「手動による対策」を確認した
- [ ] 購入リンクや不自然な被リンクがないか確認した
- [ ] 低品質・重複ページの大量生成がないか確認した
- [ ] 広告・外部スクリプトが「戻る」を妨害していないか確認した
- [ ] 第三者コンテンツの掲載方法がポリシーに沿っている
- [ ] AIの回答を操作するような施策をしていない
- [ ] スパムポリシーの更新を定期的に確認する体制がある

東京SEOメーカーの視点　August 2026 Spam Updateは、全世界・すべての言語を対象に8月18日〜21日に展開されました。具体的な対象は公表されていません。順位が下がっても原因を決めつけず、スパムポリシーと照らし合わせて一つずつ調査することが重要です。

公式情報を確認し、外部要因と内部要因を一つずつ調べる

© ADMANO inc. All Right Reserved.

一次情報・参考文献

01 **Google Search Status Dashboard「August 2026 spam update」**
https://status.search.google.com/incidents/LEubPCm2octf2uMqCFKE

02 **Google検索セントラル「Google 検索のスパム アップデートとサイトへの影響」**
https://developers.google.com/search/updates/spam-updates?hl=ja

03 **Google検索セントラル「Google ウェブ検索のスパムに関するポリシー」**
https://developers.google.com/search/docs/essentials/spam-policies?hl=ja

04 **Google検索セントラル ブログ「戻るボタンのハイジャックに関する新しいスパムポリシー」2026年4月13日**
https://developers.google.com/search/blog/2026/04/back-button-hijacking?hl=ja

05 **Google検索セントラル ブログ「Update to the Site Reputation Policy」2026年8月28日**
https://developers.google.com/search/blog/2026/08/update-site-reputation-policy

06 **Google検索セントラル「AI 機能とウェブサイト」**
https://developers.google.com/search/docs/appearance/ai-features?hl=ja

07 **Search Engine Roundtable「Why Google Announces Some Search Updates But Not All」2026年8月20日**
https://www.seroundtable.com/ai-metric-seo-41903.html

08 **Search Engine Roundtable「Google August 2026 Spam Update Has Been Unleashed」**
https://www.seroundtable.com/google-august-2026-spam-update-41895.html

09 **Search Engine Land「Google August 2026 spam update done rolling out」**
https://searchengineland.com/google-august-2026-spam-update-done-rolling-out-485471

10 **Search Engine Roundtable「Google: Spam Policies Apply To AI Responses」2026年5月15日**
https://www.seroundtable.com/google-spam-policies-apply-ai-responses-41331.html

11 **Search Engine Land「Google September 2026 spam update done rolling out」**
https://searchengineland.com/google-september-2026-spam-update-done-rolling-out-493550

12 **Search Engine Roundtable「Google November 2026 Core Update」**
https://www.seroundtable.com/google-november-2026-core-update-42504.html

参照日：2026年11月20日。英語の引用は原文の一部で、括弧内は当社による訳です。「リンクスパムやサイトの評判の不正使用は対象ではない」という点は、Search Engine RoundtableがGoogleへの確認として報じた内容で、Googleの公式発表文には記載されていません。日時は米国太平洋時間です。

© ADMANO inc. All Right Reserved.

弊社のご紹介

SEO・AIO/LLMO専門のデジタルマーケティングカンパニー

東京SEOメーカー

https://www.switchitmaker2.com/

2,000社+
支援実績 ／ 創業15年

YouTube
会員登録 30,000人

7冊
SEO関連書籍出版





確かな戦略コンサルで企業収益を最大化

- 15年で2,000社以上のクライアント様のWEB集客を支援。20人の少数精鋭ながら大手企業、上場企業の支援多数。
- 検索エンジンのアルゴリズムを長年研究し「独自ノウハウ」を蓄積。
- Google検索【SEOコンサルティング】【SEO東京】【海外SEO】【格安SEO】【格安LLMO】など多数のワードで長年にわたり検索順位上位獲得。600以上のSEO関連ワードで1ページ目以内にランクイン。

© ADMANO inc. All Right Reserved.

実績　取引先一例

国内企業様 取引先一例

株式会社芝浦電子
サンポール
田靡製麺
MDI株式会社 HEAT EXCHANGE SYSTEM SOLUTION
EMC技術の明日をひらく DENKENSEIKI
株式会社建設技術研究所
富士ロジテック
高千穂交易株式会社 TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.
銀座 英國屋
Packaging Solution OIZURU
上野黒門 安井商店 SINCE 1928

グローバル企業様 取引先一例

OMRON
KIKUSUI
FUJIOH
RS
ISF NET
EUROPEAN FLAGPOLE SunPole
CROWN RECORDS MANAGEMENT
BRAND CLOUD USA

© ADMANO inc. All Right Reserved.

SEO TOKYO maker

SEO専門会社として15年、2,000社以上を支援

スパムアップデート・ペナルティからの回復を

東京SEOメーカーにご相談ください

- スパムアップデートで順位が大きく下がった
- 検索結果の圏外に飛ばされてしまった
- 手動による対策の通知が届いた
- 原因を調査しても回復しない

SEOコンサルティング・AIO／LLMO・GEO対策・コンテンツSEO・テクニカルSEO

https://www.switchitmaker2.com/

アドマノ株式会社